

苫小牧港利用促進協議会

令和2年度

総 会

(書面表決)

1 報告事項

報告第1号	令和元年度一般会計事業報告
報告第2号	令和元年度一般会計決算報告
報告第3号	令和元年度特別会計事業報告
報告第4号	令和元年度特別会計決算報告
報告第5号	令和元年度ポートセールズ積立金決算報告
報告第6号	令和元年度会計監査報告

2 協議事項

議案第1号	会長の選任について
議案第2号	役員を選任について
議案第3号	令和2年度一般会計事業計画(案)
議案第4号	令和2年度一般会計予算(案)
議案第5号	令和2年度特別会計事業計画(案)
議案第6号	令和2年度特別会計予算(案)
議案第7号	令和2年度ポートセールズ積立金予算(案)

令和2年5月14日(木)

令和元年度一般会計事業報告

1 会議の開催

総会及び理事会の開催

項目	日時 (場所)	内容
理事会	令和元年 5月28日(火) (グランドホテルニュー王子)	議事 1 令和元年度総会提出議案
総会	令和元年 5月28日(火) (グランドホテルニュー王子)	議事 1 平年30年度一般・特別事業報告 2 平成30年度一般・特別決算報告 3 平成30年度会計監査報告 4 令和元年度一般・特別事業計画 (案) 5 令和元年度一般・特別予算 (案)

2 海外ポートセールス活動

海外におけるポートセールス活動の実施

項目	日時 (場所)	内容	参加者
苫小牧港セミナー in マレーシア	令和元年11月20日(水) (ルネッサンス・クアランポール・ホテル)	・会長あいさつ ・来賓あいさつ ・概要説明 ・交流、懇談会	58名 (現地の海事関係者等)
視察及び表敬訪問	令和元年11月20日(水) (クアランポール)	ポートクラン港	34名 (事務局等)
	令和元年11月21日(木) (ジョホールバル)	タンジュンペラパス港	
	令和元年11月22日(金) (シンガポール)	シンガポール港	

3 国内ポートセールス活動

(1)首都圏におけるポートセミナーの開催

項目	日時 (場所)	内容	参加者
苫小牧港セミナー in 東京	令和 2年 2月18日(火) (TKP ガーデンプティ品川)	・会長あいさつ ・来賓あいさつ ・概要説明 ・交流、懇談会	389名 (内会員80名) ・船社、代理店 ・物流、商社 ・政府、国交省など

(2)国内各地の荷主及び船社等に対するポータル活動の実施

訪問社数：延べ17件（東京16件、札幌 1件）

訪問地	訪問月	訪問社数
東京	令和元年 5月	3件
	令和元年 6月	3件
	令和元年 8月	1件
	令和元年10月	1件
	令和元年12月	1件
	令和 2年 2月	7件
札幌	令和元年12月	1件

4 新規航路誘致活動

他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

項目	日時(場所)	内容
博多港 RORO 船利用促進セミナー	令和元年 7月 4日(木) (ホテル日航福岡)	博多港、敦賀港と共同で RORO 船定期航路の PR
「日本コンテナ航路一覧」への 広告掲載	令和元年 8月出版 (日本海事新聞 別冊)	八戸港と連携し、広告掲載を実施
北極評議会高級北極実務者 評議会議長との意見交換	令和元年 9月 6日(金) (東港区中央ふ頭)	議長(エイナル・グソルソン氏)に対する 視察対応及び本港の PR
パンクバー港と LNG パンカリグの 促進に向けた覚書締結	令和 2年 3月 5日(木) (パンクバー港湾局)	LNG パンカリグに関する情報 交換等の連携強化

5 海事官庁の強化促進

「苫小牧海事官庁強化促進期成会」のメンバーとして関係機関に要望活動を実施

項目	日時(場所)	内容
海事官庁強化要請	令和元年 8月2日(金)	令和元年度苫小牧海事官庁強化促進期成会総会で承認(書面会議) ・海事官庁強化等に関する中央要望を実施することを決定
道内要望	令和元年 9月24日(火) ～10月7日(月)	会長ほか、苫小牧海事官庁強化促進期成会のメンバーとして海上保安庁、財務省、国土交通省等に要望
中央要望	令和元年10月24日(木) ～25日(金)	【要望項目】 (1) 海上保安署の保安部昇格 (2) 東港区へのコンテナ検査センターの設置 (3) 函館税関苫小牧税関支署の体制強化 (4) 苫小牧海事事務所の運輸支局への昇格

6 歓迎訪船事業(入港歓迎セレモニー)

入港歓迎セレモニーを実施

船数：7船

船名(船種)	日時(場所)	項目
海王丸 (RORO船)	令和元年 6月29日(土) (西港区王子製紙晴海ふ頭)	新造船の初入港
海王丸 (帆船)	令和元年 8月29日(木) (西港区北ふ頭)	入港記念
天恩(TIAN EN) (一般貨物船)	令和元年10月 9日(水) (東港区中央ふ頭)	北極海航路コンテナ輸送 トライアル入港
天王丸 (RORO船)	令和元年11月 1日(金) (西港区王子製紙晴海ふ頭)	新造船の初入港
神珠丸 (RORO船)	令和元年12月 5日(木) (西港区西ふ頭)	新造船の初入港
MARCARRIER (コンテナ船)	令和元年12月 7日(土) (東港区中央ふ頭)	コンテナ船 入港1万隻記念
神王丸 (RORO船)	令和 2年 3月17日(火) (苫小牧港管理組合)	新造船の初入港

7 PR活動

展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等のPR活動を実施

出展数：5回

項目	日時(場所)	来場者数等	内容
企業立地フェア 2019	令和元年 5月22日(水) ～24日(金) (東京ビッグサイト)	来場者数 : 2,334人 ブース接客数 : 101人 (82社)	・ブース出展 (他協議会等との共同)
メッセナゴヤ 2019	令和元年11月 6日(水) ～ 9日(土) (ポートメッセなごや)	来場者数 : 62,422人 ブース接客数 : 46人 (37社)	
沖縄大交易会	令和元年11月14日(木) ～15日(金) (沖縄コンベンションセンター)	来場者数 : 非公表 ブース接客数 : 35人 (28社)	
ふるさと北海道応援 フォーラム	令和元年12月 6日(金) (ホテルメトロポリタン エドモント)	来場者数 : 245人 ブース接客数 : 14人 (11社)	
国際物流総合展 2020	令和 2年 2月19日(水) ～21日(金) (東京ビッグサイト)	来場者数 : 21,834人 ブース接客数 : 89人 (69社) セミナー参加数 : 23人	

8 利用促進の調査研究

ポートセールス研究会を中心に、効果的な事業やポートセールス等のあり方について調査研究を実施

項目	日時(場所)	内容
ポートセールス研究会	令和元年5月10日(金) (苫小牧港管理組合)	協議事項 (1)今年度の活動について (2)その他

9 会員の拡大

会員の勧誘を実施

種別	年度	企業・団体	内容
新規加入	令和元年度	株式会社 北海道日新	会員数67社に増加

令和元年度特別会計事業報告

1 輸出拡大に向けた取組

(1) 苫小牧港小口混載コンテナ輸送支援事業

- 【課題】 ①貨物利用運送業者の負担が大きい
②定期性がなく貨物が集まらない

【目的】 小口混載コンテナ輸送の定期サービスの確立
北海道産の農水産品、加工食品等の輸出促進

【対象】 コンテナ内の空きスペースに係る輸送料金（倉庫保管料等）

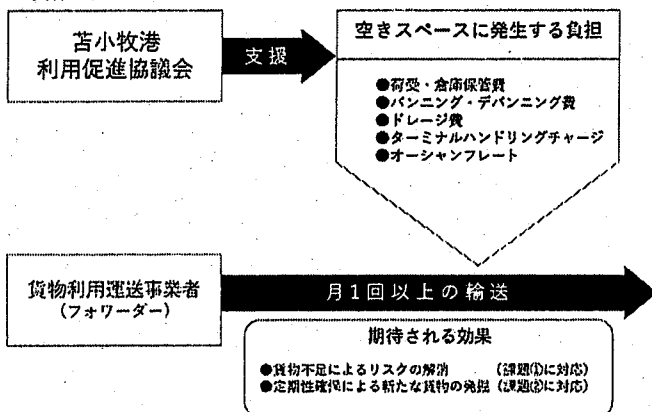
【支援額】 最大500万円/支援事業者

【実績】

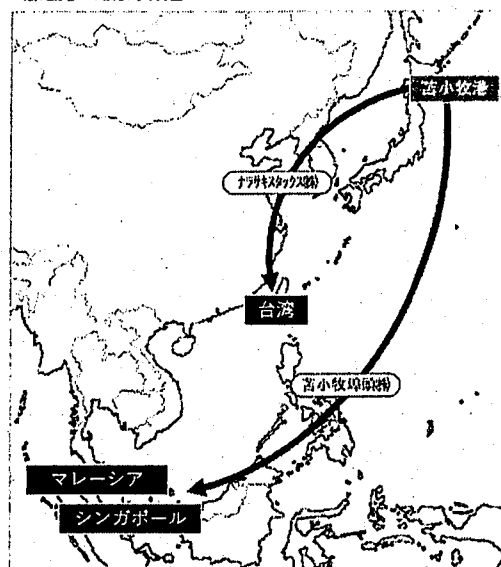
事業者	輸送先	輸送回数	主な品目
苫小牧埠頭(株)	シンガポール	17回	冷凍水産品、スイーツ等
	マレーシア	3回	スイーツ等
ナラキスタックス(株)	台湾	8回	冷凍水産品、スイーツ等

【概要】

<事業スキーム>



<輸送先と対象事業者>



2 港湾の振興と発展に向けた取組

新規航路を利用した輸送トライアルの実施

【概要】 日本初となる北極海航路を利用したコンテナ貨物の輸送トライアルの実施にあたり、苫小牧寄港を記念して入港歓迎セレモニーを開催した。

船名（船種）	日時（場所）	航路
天恩(TIAN EN) （一般貨物船）	令和元年10月9日(水) （東港区中央ふ頭）	ヘルシンキ港～苫小牧港

【PR】 特集掲載を実施 （日本海事新聞：2019年10月23日掲載）



令和元年度特別会計決算

収入済額 15,819,532 円
 支出済額 8,398,050 円
 差 引 7,421,482 円 (次年度へ繰越)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差 引 (B) - (A)	備 考
負担金	0	0	0	
繰越金	15,819,415	15,819,415	0	
諸収入	120	117	△3	預金利息
合 計	15,819,535	15,819,532	△3	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差 引 (A) - (B)	備 考
事業費	10,000,000	8,378,926	1,621,074	小口混載コンテナ輸送支援事業 5,012,854 北極海航路コンテナ輸送トライアル入港 2,649,446 PR活動経費、宣伝広告費等 716,626
事務費	0	19,124	△19,124	振込手数料
予備費	0		0	
合 計	10,000,000	8,398,050	1,601,950	

令和元年度ポータルズ積立金会計決算

収入済額 2,000,031 円
 支出済額 2,000,000 円
 差 引 31 円 (次年度へ繰越)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差 引 (B) - (A)	備 考
負担金	0	0	0	
繰越金	2,000,014	2,000,014	0	
諸収入	20	17	△3	預金利息
合 計	2,000,034	2,000,031	△3	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差 引 (A) - (B)	備 考
事業費	2,000,034	2,000,000	34	苫小牧港セミナーin東京関係
事務費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合 計	2,000,034	2,000,000	34	

報告第 6 号

令和元年度会計監査報告について

令和元年度苫小牧港利用促進協議会決算について、現金出納簿、収支計算書、伝票及び貯金通帳等の関係帳簿並びに証拠書類を監査した結果、収入、支出ともに正確であり、かつ適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

令和 2年 4月17日

監事 苫小牧商工会議所
専務理事 森本 恭行 印

会長及び役員を選任について

苫小牧港利用促進協議会 役員名簿(案)

令和2年度から令和3年度まで (2年間)

(敬称略)

役職名	企業・団体名	役職	氏名	変更前
会長	苫小牧港管理組合	管理者	岩倉博文	-
会長代理	苫小牧港管理組合	専任副管理者	佐々木秀郎	-
理事	株式会社イワクラ	管理部長	坂口顕士	-
理事	王子製紙株式会社苫小牧工場	事務部長	桑村文昭	(鈴木雄輔)
理事	株式会社栗林商会	取締役支社長	小紫聡	-
理事	苫小牧栗林運輸株式会社	代表取締役社長	栗林秀光	-
理事	苫小牧港開発株式会社	代表取締役社長	関根久修	(石森亮)
理事	苫小牧埠頭株式会社	代表取締役社長	橋本哲実	-
理事	苫小牧北倉港運株式会社	取締役総務部長	麦島博史	-
理事	トヨタ自動車北海道株式会社	専務取締役	日根野隆明	-
理事	ナラサキスタックス株式会社	代表取締役社長	須藤哲也	(秋元茂樹)
理事	日本通運株式会社苫小牧支店	支店長	多田圭介	-
理事	北旺運輸株式会社	代表取締役社長	梅津修	-
監事	苫小牧商工会議所	専務理事	森本恭行	-

令和2年度一般会計事業計画（案）

令和2年度活動方針

継続的なポートセールス活動や新規航路の誘致に向けた活動等により、苫小牧港の物流機能や利便性をPRし、知名度向上や利用拡大を目指す。

この方針に基づき、次のように取組を実施する。

※事業計画につきましては、新型コロナウイルスの影響等により、変更又は中止となる場合がございます。

1 会議の開催

総会及び理事会を開催

2 海外ポートセールス活動

海外におけるポートセールス活動の実施

3 国内ポートセールス活動

日本各地の荷主及び船社等に対するポートセールス活動の実施

4 新規航路誘致活動

他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

5 海事官庁の強化促進

「苫小牧海事官庁強化促進期成会」のメンバーとして、関係機関に要望活動を実施

6 歓迎訪船事業

入港歓迎セレモニーの実施

7 PR活動

展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等のPR活動を実施

8 利用促進の調査研究

ポートセールス研究会を中心に、効果的な事業やポートセールス等について調査研究を実施

9 会員の拡大

会員の勧誘を実施

令和2年度一般会計予算 (案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備 考
会 費	3,880,000	3,880,000	0	会員=67企業・団体 (1,552口×2,500円)
ポートセールス 繰入金	0	0	0	
繰越金	100,443	304,231	△203,788	前年度からの繰越
諸収入	10	1,075,769	△1,075,759	預金利息 ※苫小牧港セナ(国内)の開催予定がないことに伴う会員負担金の減
合 計	3,980,453	5,260,000	△1,279,547	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備 考
事業費	3,050,000	4,800,000	△1,750,000	苫小牧港セナ(海外) 入港歓迎レモ-に係る経費 PR活動経費、宣伝広告費等 ※苫小牧港セナ(国内)の開催予定がないことに伴う減
会議費	50,000	100,000	△50,000	理事会、総会等関係費
事務費	350,000	350,000	0	PR用販促品作成費等
ポートセールス 積立金	500,000	0	500,000	
予備費	30,453	10,000	20,453	
合 計	3,980,453	5,260,000	△1,279,547	

令和2年度特別会計事業計画（案）

令和2年度活動方針

港湾を取り巻く情勢の変化に柔軟に対応するべく、機動的な取組を行い、苫小牧港における農水産物の輸出拡大や内外貿易の促進を目指す。

この方針に基づき、次のように取組を実施する。

※事業計画につきましては、新型コロナウイルスの影響等により、変更又は中止となる場合がございます。

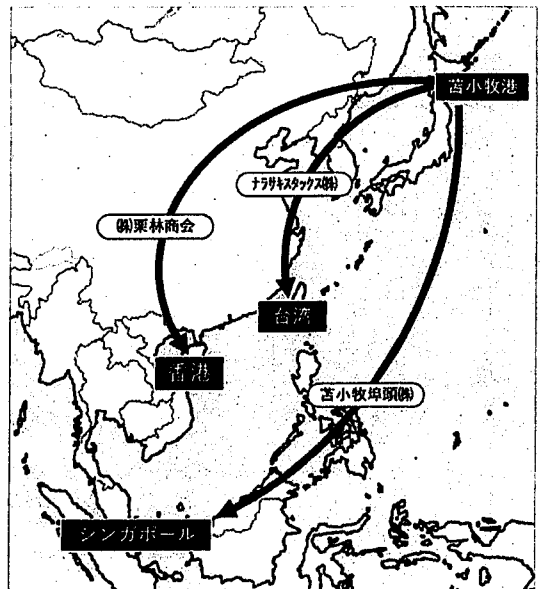
1 輸出拡大に向けた取組

(1) 苫小牧港小口混載コンテナ輸送支援事業

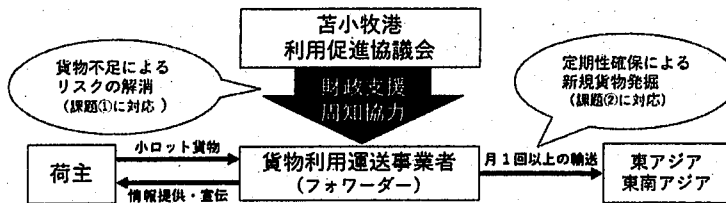
<概要>

現状・課題	①貨物不足時に貨物利用運送事業者の負担が大きい ②サービスに定期性がなく貨物が集まらない
事業目的	定期小口混載コンテナ輸送サービスの確立 北海道産の農水産物、加工食品等の輸出促進 苫小牧港の利用拡大等
対象	【継続】苫小牧埠頭㈱（シンガポール向け） 【継続】ナラサキスタックス㈱（台湾向け） 【新規】㈱栗林商会（香港向け）
支援対象	コンテナ内の空きスペースに係る輸送料金（倉庫保管料等）
支援額	新規事業は最大500万円、継続事業は最大400万円

<輸送先と対象事業者>



<事業スキーム>



(2) 各種広報活動を実施（HP、説明会、広報用資料作成、広告掲載等）

(3) 現地調査を実施

(4) 関係機関への情報提供及び協力依頼（JETRO、北海道貿易物産振興会等）

2 港湾の振興と発展に向けた取組

新規航路を利用した輸送トライアルの実施

令和2年度特別会計予算（案）

【収入の部】

(単位：円)

科 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備 考
負担金	0	0	0	
繰越金	7,421,482	15,819,415	△8,397,933	
諸収入	10,000,100	120	9,999,980	預金利息 100 寄付金 10,000,000
合 計	17,421,582	15,819,535	1,602,047	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	備 考
事業費	13,000,000	10,000,000	3,000,000	小口混載コンテナ輸送支援事業 (新規事業者)1社 (継続事業者)2社 新規航路輸送トライアル ※小口混載コンテナ輸送支援事業の事業者増加に伴う増
事務費	0	0	0	
予備費	4,421,582	0	4,421,582	
合 計	17,421,582	10,000,000	7,421,582	

令和2年度ポートセールズ積立金会計予算 (案)

【収入の部】

(単位:円)

科目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備考
負担金	500,000	0	500,000	一般会計からの積立
繰越金	31	2,000,014	△1,999,983	
諸収入	5	20	△15	預金利息
合計	500,036	2,000,034	△1,499,998	

【支出の部】

(単位:円)

科目	令和2年度予算額 (A)	令和元年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備考
事業費	0	2,000,034	△2,000,034	※苫小牧港ミナ(国内)の開催予定がないことに伴う減
事務費	0	0	0	
予備費	500,036	0	500,036	
合計	500,036	2,000,034	△1,499,998	

※令和2年度は、苫小牧港ミナ(国内)の開催予定がないため、事業費(積立金の取崩)の計上はございません。

苫小牧港利用促進協議会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、苫小牧港利用促進協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、苫小牧港における内外貿易の促進を図り、港湾の振興と発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 船舶及び貨物の誘致に関すること。
- (2) 内、外国定期航路の誘致に関すること。
- (3) 港湾知識の普及に関すること。
- (4) 苫小牧港の宣伝に関すること。
- (5) 港湾情報の交換及び会員相互の親睦に関すること。
- (6) その他、本会の目的達成に必要なこと。

第2章 会員

(会員)

第4条 本会の会員は、本会の趣旨に賛同する企業及び団体とする。

(会費)

第5条 会員は、総会で別に定める会費を納入しなければならない。

2 部会費は別に定める方法で別途徴取することができる。

第3章 役員等

(役員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 会 長 | 1名 |
| (2) 会長代理 | 1名 |
| (3) 理 事 | 若干名 |
| (4) 監 事 | 若干名 |

(選任等)

第7条 役員は、会長が指名し、総会において承認する。ただし、会長は会員の互選によるものとする。

2 役員は、任期は、2カ年とする。ただし、再任を妨げない。

3 役員は、任期満了しても次期役員が就任するまで、その職務を行うものとする。

4 役員は、任期途中の異動等により退任があった場合には、出身団体等の後任者が就任するものとする。この場合において、その任期は前任者の残任期間とする。

(職務)

第8条 会長は、本会を代表し、その業務を総理する。

2 会長代理は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、会則及び総会の議決に基づき、本会の業務を遂行する。

4 監事は、会計を監査する。

(顧問及び参与)

第9条 本会に顧問及び参与を置くことができる。

(1) 顧問は、会長の諮問に応じ及び会議に出席して意見を述べるすることができる。

(2) 参与は、会長の要請に応じ、本会の事業遂行に関する重要事項に参与することができる。

2 顧問及び参与は、会員にかかわらず関係機関・団体、企業及び学識経験者の中から理事会の議決を経て、会長が委嘱する。

第4章 会議等

(総会)

第10条 総会は、本会の運営に関する重要な事項を議決する。

2 総会は、毎年一回開催する。

(理事会)

第11条 理事会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務に関する事項

2 理事会は、必要に応じ随時開催する。

(部会)

第12条 第3条の事業のうち特定の事業を遂行するため、総会の議決を経て部会を設置することができる。

- (1) 部会長は、会員の中から、会長が指名した者があたる。
- (2) 部会は、必要に応じ随時開催する。
- (3) 部会員は、会員の中から、会長が指名する。

(会議の招集等)

第13条 総会及び理事会は、会長が招集し、議長は、会長がこれに当たる。

2 部会は、部会長が招集し、議長は、部会長がこれにあたる。

第5章 財務

(経費)

第14条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金等をもって、これに充てる。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 事務局

(設置等)

第16条 本会の事務を処理するため、事務局を苫小牧港管理組合内に置く。

- 2 事務局に事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び職員は、会長が任免する。

第7章 補則

(その他)

第17条 この会則に定めるもののほか、本会運営に必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成5年6月8日から施行する。
- 2 本会の当初の役員は、第7条の規定にかかわらず、平成7年3月31日までとする。
- 3 本会の初年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、当初の総会開催の日から、平成6年6月31日までとする。
- 4 会則第5条に基づく会費の額は、一口2,500円とする。

附 則 (平成16年5月28日改正)

この会則は、平成16年5月28日から施行する。

附 則 (平成18年5月10日改正)

この会則は、平成18年5月10日から施行する。

附 則 (平成21年5月28日改正)

この会則は、平成21年5月28日から施行する。

附 則 (平成22年5月26日改正)

この会則は、平成22年5月26日から施行する。

苫小牧港利用促進協議会 会員名簿

いすゞエンジン製造北海道株式会社	苫小牧水先区水先人会
出光興産株式会社北海道製油所	苫小牧木材港運株式会社
株式会社イワクラ	株式会社とませい
岩倉海陸運輸株式会社	株式会社苫東
王子製紙株式会社苫小牧工場	苫東共同港運倉庫株式会社
王子木材緑化株式会社北海道支店	苫東コールセンター株式会社
川崎近海汽船株式会社苫小牧支店	トヨタ自動車北海道株式会社
近海郵船北海道株式会社苫小牧本店	有限会社中野商事
栗林海陸輸送株式会社	ナラサキスタックス株式会社
栗林機工株式会社	ナラサキ石油株式会社
株式会社栗林商会苫小牧支社	日本軽金属株式会社苫小牧製造所
栗林商船株式会社苫小牧支社	日本梱包運輸倉庫株式会社苫小牧営業所
札幌通運株式会社苫小牧支店	日本製紙株式会社北海道工場
山九株式会社苫小牧支店	日本通運株式会社苫小牧支店
商船三井フェリー株式会社苫小牧支店	株式会社ニュートレーディングブリッジ
新日本海フェリー株式会社苫小牧支店	ノーススタートランスポート株式会社苫小牧支店
一般社団法人全日検北海道事業所	菱中海陸運輸株式会社
太平洋フェリー株式会社苫小牧港営業所	株式会社フジトランスコーポレーション北海道支店
苫小牧共同バース管理株式会社	北旺運輸株式会社
株式会社苫小牧協和サービス	株式会社北洋銀行苫小牧中央支店
苫小牧栗林運輸株式会社	北海運輸株式会社苫小牧支店
JX 金属苫小牧ケミカル株式会社	北海道運搬機株式会社苫小牧本店
苫小牧港開発株式会社	株式会社北海道銀行苫小牧支店
苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合	北海道石炭荷役株式会社
苫小牧港管理組合	北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所
苫小牧港木材振興株式会社	北海道曹達株式会社
苫小牧港湾振興会	北海道電力株式会社苫東厚真発電所
苫小牧商工会議所	株式会社北海道日新
苫小牧信用金庫	北海道防疫燻蒸株式会社苫小牧事業所
協同組合苫小牧タグセンター	株式会社北陸銀行
苫小牧埠頭株式会社	三ツ輪運輸株式会社苫小牧支店
苫小牧北倉港運株式会社	一般社団法人室苫植物検疫協会苫小牧事務所
	名鉄観光サービス株式会社苫小牧支店
	株式会社近畿日本ツーリスト北海道札幌法人旅行支店
	株式会社 日本旅行北海道 苫小牧支店

計 67 企業・団体

